

# 我が国の行政機関における デフォルトの活用事例

ナッジ?



スラッジ?



# 社会の課題解決のために行動科学を活用した取組事例 職場環境・働き方改革分野

## 警察庁／中部管区警察局岐阜県情報通信部の取組（夜勤明けの休暇取得促進）

宿直者は翌日の休暇取得をデフォルト化

オプトアウト(勤務)する者のみ  
報告様式に新設された該当欄にチェック

氏名	宿直明け休暇の取得
	<input type="checkbox"/> しない
	<input type="checkbox"/> しない

上司は、オプトアウト申告、昨晚の対応状況、健康状態等から休暇取得を奨励

休暇取得者は…

3倍弱に増  
延べ37人⇒106人

睡眠不足だね。  
今日は帰って  
休みなさい。

深夜に事案  
対応しました。



## 千葉市の取組（男性職員の育児休業取得促進）

平成28年度から各所属長に対して部下の職員の育休予定や取得できない場合の理由を聞き取り、「取得が当たり前」の職場環境へ



### 男性職員の育児休業取得率の目標値を2年前倒しで達成

平成29年度の男性職員の育児休業取得率が22.9%となり、計画の目標値（平成31年度：13%）を2年前倒しで達成

取得率の推移（市全体）

25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
2.2%	3.1%	5.8%	10.3%	22.9%

（注）市長部局の取得率（29年度）は、63.9%

男性社員の育休の義務化の議論が出ていますが、一時的な育休以上に恒常的に男性が子育てに携わることが重要で、例えば有休を時間単位で取得できる企業が未だ少ない点を改善する等の議論まで広げてほしいですね。  
なお、千葉市の男性職員の育休取得率は昨年度34.3%と他と比べ大幅に高い状況です。

1:44 - 2019年6月19日

千葉市は従来、育休を取得する理由を申請させていた運用を見直し、取得が基本として、取らない場合になぜ育休を取らないのかを逆に申請させる運用とした結果、大幅に取得率が向上しました。

また、イクボス宣言・男性職員の保育所迎いの奨励など、幹部会議等で繰り返し意識改革を求めています。

22:44 - 2019年6月19日

# ふるさと納税の申請書の送付の有無

## 自治体Aの場合

1. ふるさと納税専用ページです。スマートフォンでは「買い物かごに入れる」と表記されております。

理解した

3. ワンストップ特例制度の申請書について

要望する

要望しない

要望する

## 自治体Bの場合

1. ふるさと納税専用ページです。注文内容確認画面に表示される「注文者情報」を住民票情報とみなします。

理解した

2. 寄附金の用途を選択

市長におまかせコース

3. ワンストップ特例申請書の送付について

送付を希望しない

3. ワンストップ特例申請書の送付について

送付を希望しない

送付を希望する

ワンストップ特例申請をする際には寄附者自らがウェブサイトから様式をダウンロードして印刷する必要がある